

# 千葉県中学入試概況

## 1. 概況 応募総数はやや増加

千葉県の私立中学入試は12月1日開始の推薦(第一志望・専願)入試と、1月20日開始の一般入試の2種類です。国立中と公立中高一貫校は、12月に1次が行われ、合格者が1月の2次を受験する2段階選抜です。

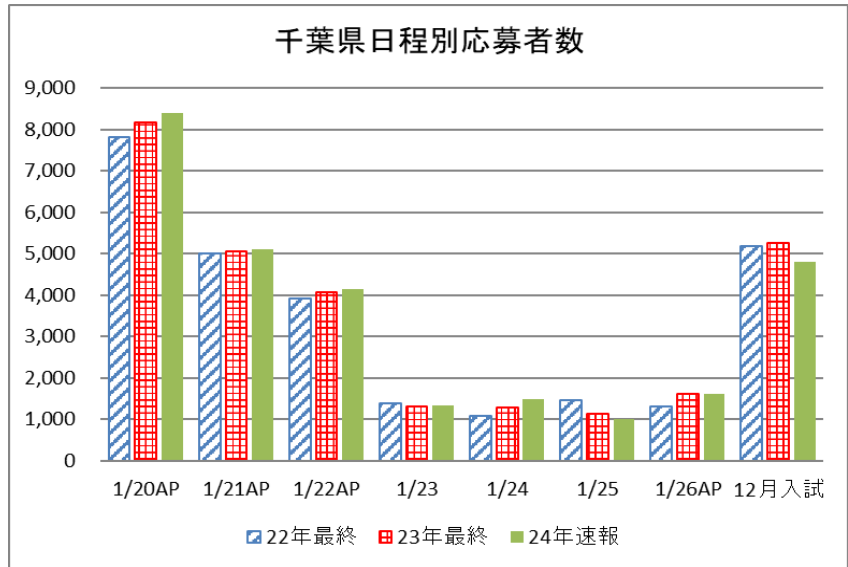
今年度の県内公立小6児童数は約51,100名で、昨年度より約700名の減少です。県内の公立中高一貫校を含む中学入試の応募総数は2月28日現在約32,800名で昨年度並みです。国立の千葉大附属など、本稿執筆時点で入試結果が未

公表の学校があり、最終的には昨年度を少し上回ることになりそうです。千葉県の私立中学は東京都や神奈川県からのお試し受験生を受験しますが、最近では埼玉県の学校をお試し受験先に選ぶ受験生が増える一方で、東京の都心部の学校と千葉県の学校の両方に合格すると、千葉県の学校を進学先に選ぶケースも増えていて、各校の性格も変わりつつあります。

右上のグラフは、この3年間の各校の入試の応募者数を日程別に合計して比較したもので、今年度は速報値です。12月の入試は、国立中学校と公立中高一貫校の1次と、私立各校の推薦・第一志望入試、12月実施の帰国生入試の合計、APとあるのは午前入試と午後入試の合計です。1月の入試には国立中学校と公立中高一貫校の2次を含みません。

まずグラフの右端の12月入試の応募者数が今年度は減っています。上記のように千葉大附属の応募者数がまだ公表されていない影響が大きいのですが、昨年度と同数だったとしても、合計は昨年度よりも少し減る計算です。公立中高一貫校の応募者が1割近く減っている影響です。中でも市立稲毛国際中等の減少が目立っています。

1月の入試では今年度も1月20日から22日が応募



の中心で、23日以降は小規模です。20日から22日の間では20日が最多、21日、22日と減っていますが、20日は約8,400名の応募者数で、昨年度より200名あまり増えています。東京都などからのお試し受験生よりも地元の中堅の学力層の受験生の増加が中心です。21日は約5,000名、22日は約4,000名の応募者数で、どちらも昨年度よりやや増えています。23日以降はともとも小規模ですが、24日は約200名応募者が増えています。25日は約100名減りました。20日の応募者数の増加から、東京などからのお試しの受験生は、女子を中心にやや増えているようですが、県内の受験生も少し増えているのかもしれませんが。

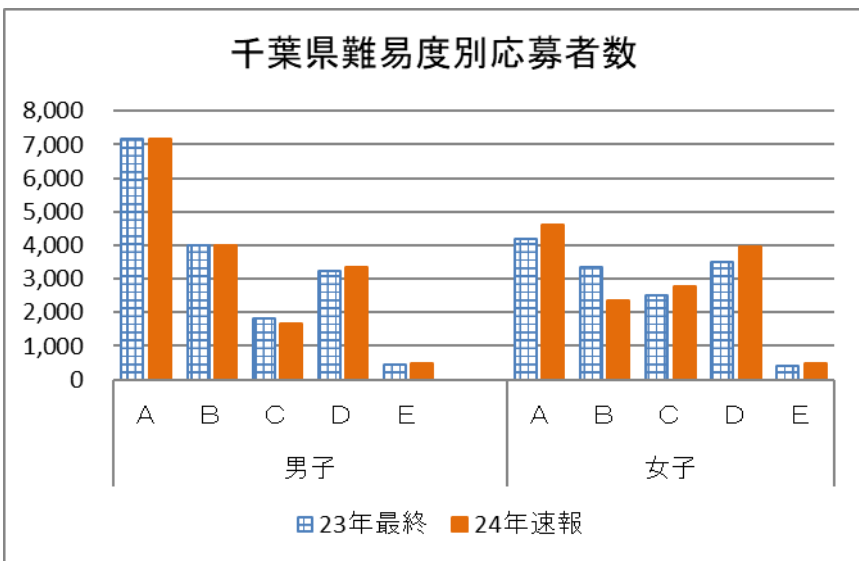
次に、難易度別の応募状況も見てみます。グラフは次のページです。各校の応募者数を難易度別に上からA~Eの5段階にグルーピングして合計し、昨年度と比較しました。グルーピングは各年の入試直前の予想難易度をもとにしていて、毎年受験生がどの難易度の学校をどれだけ希望しているかを表しています。公立一貫校は受験生の学力分布が幅広いため外しています。共学・別学校の応募者はそれぞれ男女別で集計し、男子校・女子校と合計していますが、男女別の内訳が未公表の学校は応募者数の半分ずつをそれぞれ男子・女

子で合計しました。昨年度は昨年度用の予想難易度、今年度は今年度用の難易度を用いていますので、それぞれのグループに含まれる学校は、昨年度と今年度とでは異なる場合があります。各グループの学校はグラフの下に一覧で表示しています。

千葉県の特徴は、男女とも難関校のAグループが最多になっていることで、東京23区や多摩地区、神奈川県とはグラフの形が異なります。Aグループが最多なのは男女とも同じですが、男子のAグループへの集中度合いは女子よりも高く、その分Cグループ校の応募者が少なくなっています。こうした傾向になるのは、東京23区などから流入する受験生の多くがAグループ校を狙うからです。

男子のAグループは約7,200名で昨年度並み、Bグループは約4,000名で、こちらも昨年度並みですが、千葉大附属の応募者数が公表されれば増えるはずですが、Cグループは約1,600名で約200名減、Dグループは昨年度より100名あまり増えた約3,400名、Eグループはかなり少なく、昨年度も今年度も400名あまりです。

女子のAグループは昨年度より約400名増加した約4,600名です。東京などからのお試し受験生が少し増えたようです。コロナ禍のときは、1月20日からの千葉県の入試を受験して万一感染した場合、日程的に2月1日からの東京都内の学校の受験が難しくなることから、1月10日からの埼玉県の学校にお試し受験先を変更する事例が見られましたが、コロナが明けて受験生が戻ってきたようです。Bグループは約2,400名で昨年度より1,000名近く減りました。男子でも触れたように、千葉大附属の応募者数が公表されればもっと増えるはずですが、昨年度並みには届かないでしょう。Cグループは昨年度よりも200名あまり増えた約2,800名、Dグループは500名あまり増えて約4,000



◎ 難易度別グルーピング

本資料集では出願動向の分析のため、各校の代表的な入試難易度で千葉県私国立中を次のようにグルーピングしました。学校ごとの教育内容の優劣を表すものではありません。

- A…市川・渋谷幕張・東邦大東邦
- B…芝浦工大柏・昭和学院秀英・専修大松戸・千葉大附属・麗澤(AE)
- C…光英VERITAS(特待)・国府台女子・千葉日大第一(一般)・成田高付属(一般)・麗澤(EE)・八千代松陰(IGS)
- D…光英VERITAS(一般)・昭和学院・西武台千葉(特待)・千葉日大第一(一志)・東海大浦安・成田高付属(一志)・日出学園・二松学舎大附柏・八千代松陰・流通経済大柏・和洋国府台女子
- E…暁星国際・三育学院・志学館・秀明八千代・翔凜・西武台千葉(一般)・千葉明德

名になりました。Eグループは女子もかなり少なくなっています。Bグループが減ってC・Dグループが増えているのは安全志向の強まりでしょう。

以下、地域別に各校の状況を見ていきます。

## 2. 市川・浦安市～千葉市方面

渋谷幕張は1月22日午前の1次、2月2日午前の2次とも応募者が少し増えていますが、2回とも男子が増えて女子はやや減っています。合格最低点は帰国生と1次は昨年度並みですが2次は上がっています。2次はかなり限界近い難度ですが、やや難化したかもしれません。東邦大東邦は各回次合計で昨年度並みの応募者数です。12月の推薦・帰国生がやや増えて、1月21日午前の前期が昨年度並み、2月3日午前の後期が少し減りました。合格最低点は帰国生と前期が昨年度

並みで難度に変化はなかったようですが、推薦と後期は上がっています。この2つの入試は実質倍率が十数倍ですから、難化したかどうかの話ではありません。今年度も大激戦でした。

市川は12月の帰国生、1月20日午前の1回と帰国生、2月4日午前の2回とも昨年度並みの応募者数です。1回は合格最低点が下がっていますが、出題内容や得点分布の関係でしょう。難度は変わっていないようです。2回は合格者を絞っていて実質倍率が上がりましたが、合格最低点は昨年度並みです。ボーダーライン付近がかなり厳しくなった入試だったのでしょうか。昭和学院秀英は1月20日午後の特別の応募者が増加、22日午前の1回は昨年度並み、2月3日午前の2回は少し減っています。特別と1回は合格最低点が少し上がっています。出題内容との関係はありますが、少し難化したかもしれません。2回は逆に下がっています。合格者数を少し絞っていますから、入り易くはなっていないでしょう。

国府台女子は12月の推薦、1月21日午前の1回、2月5日午前の3回とも応募者がかなり増えていて、人気が上がっています。合格最低点は推薦が下がっていますが、出題内容や得点分布の関係でしょう。難度に変化はなさそうです。1回と2回は昨年度並みです。難度はあまり変わっていないようですが、実質倍率がアップした分、ボーダーライン付近が厳しくなったようです。和洋国府台女子も12月の推薦、1月20日午前の1回、24日午前の3回とも応募者が少し増えています。実質倍率は少し上がったり下がったりしていて、本原稿執筆時点では合格最低点が未公表ですが、難度はあまり変わっていないようです。

日出学園は各回次合計の応募者数が少し減っていて、12月の推薦と1月20日午前のI期が減っています。23日午前のII期は昨年度並みです。合格最低点はI期とII期は上がっています。出題内容との関係はありますが、やや難化したかもしれません。千葉日大第一は12月の自己推薦の応募者が昨年度並み、1月21日午前のI期は少し減って、25日のII期は増えています。合格最低点は自己推薦がやや上がっていますが、出題内容や得点分布との関係でしょう。I期、II期は昨年度並みですから、難度に変化はなさそうです。

東海大浦安は各回次合計の応募者数が少し増えていて、1月24日午前のBが増加の中心です。実際の受

験者数も増えていますが、合格者数はやや絞っていて、平均の実質倍率はその分上がっています。合格最低点は各回次とも昨年度とあまり変わっておらず、難度に変化はなさそうです。千葉明德も各回次合計の応募者数が増えています。1月20日午前に適性検査型と2科4科選択の入試を並行実施として一般入試が1回増えたことが増加の中心です。同校も本稿執筆時点で合格最低点は未公表ですが、不合格者が少ないことから難度に変化はなさそうです。

昭和学院はサイエンスアカデミー、インターナショナルアカデミー、アドバンストアカデミー、ジェネラルアカデミーの4コース制です。今年度も各コース各回次合計の応募者数が増えています。内訳では1月20日午前のマイプレゼンテーション入試が少し減っていて、12月の第一志望入試がマイプレゼンテーションも含めて昨年度並みですが、他の入試はすべて増えていて、人気上昇が続いています。本稿執筆時点で合格最低点は未公表ですが、やや難化したかもしれません。

前述のように本稿執筆時点で国立の千葉大附属は入試結果未公表です。公立中高一貫校では、県立千葉は昨年度並みの応募者数で、合格最低点などは公表されませんが、1次の合格者に2次を実施する2段階選抜ですから、難度に変化はないでしょう。市立稲毛国際は応募者が少し減っています。2022年度、中等教育学校に改編して募集定員が倍増し、応募者も大きく増えました。昨年度も2022年度並みの応募者数でしたが、今年度は人気が一段落したようです。やはり2段階選抜ですから、難度はあまり変わっていないようです。

### 3. 八千代市～成田市方面

伝統校の成田高附属は12月の第一志望入試も1月の一般入試も昨年度並みの応募者数で人気に変化は見られません。一般入試は合格最低点が上がっていますが、出題内容との関係でしょう。推薦もふくめ、難度はあまり変わっていないようです。八千代松陰はIGS特進コースを新設、在来コースをLESSンルームコースとして、2コース制にしました。このことが受験生に支持され、両コース各回次合計の応募者数は大きく増えています。今年度は本稿執筆時点で合格最低点は未公表ですが、新設のIGS特進コースは、従来よりもワンランク高い難度だったようです。秀明八千代は今年度も小規模な入試でした。

#### 4. 房総地区

この地区の各校は寮を設置していて、他の学校とは性質が異なっています。翔凜、志学館、暁星国際とも、今年度も小規模な入試で、暁星国際は各回次合計の応募者が少し増えていて、翔凜と志学館は昨年度並みです。三育学院は本稿執筆時点で入試結果は未公表でした。

#### 5. 常磐・北総・TX線方面

芝浦工大柏はグローバルサイエンスと一般の2コース制を取りやめ、全員グローバルサイエンスの体制に変更しました。各回次合計の応募者数は昨年度並みで、コース制廃止の影響は見られません。内訳では2月の課題作文入試がやや減ったものの、1月23日午前と27日午前の2回は昨年度とあまり変わらない応募者数です。実際の受験者数も昨年度並みですが、合格者数は少し絞られています。コース制を取りやめていますから、合格最低点の単純比較はできませんが、昨年度の一般コースよりは若干難化したかもしれません。

専修大松戸は1月20日午前の1回の応募者が少し減り、26日午前の2回、2月3日午前の3回はほぼ昨年度並みの応募者数でした。女子が少し減って男子がやや増えています。合格最低点は各回次とも昨年度並みで、難度に変化は見られません。なお、同校は2025年度入試から3回で、2科+面接の「発信力が高い受験生向け」の入試を選択で実施します。注目されるでしょう。

麗澤はAE、EEの2コース制です。今年度は各回次とも応募者が少し減りました。2年間応募者の増加が続いたので、人気が一段落したようです。実際の受験者数も少し減っていますが、合格者数は若干増えています。合格最低点は全体に少し下がっていて、AE、

EE両コースとも少し入り易くなったかもしれません。

共学化から丸3年の光英VERITASは、今年度の卒業生で完全に女子校から共学校に転換しますが、各回次合計の応募者数は順調に増えています。一部昨年度より減った回次もありますが、多くは昨年度並みか増加していて、イメージチェンジが受験生に浸透しました。合格最低点は特待入試が上がっているほか、それ以外は一部に上下が見られるものの、概ね昨年度並みです。基本的に難度変化はないものの、特待認定は少しレベルアップしたようです。

二松学舎大附属柏はグローバル探究と総合探究の2コース制です。両コース各回次合計の応募者数は増加が目立っています。回次ごとでも昨年度並みか増加している回次ばかりです。本稿執筆時点で合格最低点は未公表ですが、難度面は両コースともあまり変わっていないようです。新設開校2年目の流通経済大柏は、各回次合計の応募者数が増えている、開校人気が続いています。ただ、12月の第一志望入試と1月22日午前の1回は男子の応募者が減っていて、昨年度が思った以上の難度だったことから高い志望順位で考えることをあきらめた受験生もいたようです。本稿執筆時点で合格最低点は未公表ですが、難度はあまり変わっていないようです。

野田市の西武台千葉は、常磐線やTX線沿線というよりも埼玉県の春日部からもあまり時間がかからない学校で、通学圏が狭いことから小規模な入試の学校ですが、今年度は応募者が大きく増えた入試でした。通学圏が少し拡大したのかもしれません。

公立中高一貫校の東葛飾は昨年度並みの応募者数です。合格最低点などは公表されませんが、1次の合格者に2次を実施する2段階選抜ですから、難度に変化はないでしょう。

## MEMO